

研究課題番号	5-2101
研究課題名	土壌・水系における有機フッ素化合物類に関する挙動予測手法と効率的除去技術の開発
研究実施期間	2021年度～2023年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	田中周平

1. 委員の指摘及び提言概要

PFASによる土壌地下水汚染にかねてより地元と協力して取り組んでおり、緻密な調査、分析により大きな成果が出ている。実汚染土壌を用いた溶出試験等による汚染の評価、地盤内での挙動予想のパラメータ取得など貴重な知見を得た。また今後の対策につながる汚染土壌対策技術として、原位置浄化法に適する洗浄用溶媒に関する一連の知見を得ており、さらに移流分散シミュレーションによる対策のリスク削減効果を評価した。一方、有機フッ素化合物のトータルマスバランスやシミュレーション妥当性評価などが今後必要である。また、処理に使用した有機溶媒の廃棄に関わる費用、PFASを吸着した媒体の処理方法とそれに伴う費用など、費用対効果全体を明示することが環境政策上は必須であろう。

2. 採点結果

評価ランク：A